

クルクルごみ減量通信

雑がみを分別して

可燃ごみを減らそう！

12月に実施した組成調査（燃えるごみの中身を調べる調査）では、紙類が約13%含まれており、そのうちの約6割が雑がみでした。雑がみを資源として分別し、燃えるごみを減らしましょう！



詳しくはこちら

雑がみとは

新聞、雑誌、段ボール、紙パックのいずれにも入らない、パンフレット、包装紙、紙袋、紙箱などの紙全般をいいます。



出し方 紙袋や封筒に入れて、ひもでしばって出すか、雑誌や図書類に折り込んで出してください。

出せないもの

- 汚れた紙・臭いのついた紙
(食品が付着したもの、石鹼の箱など)
- 写真・アルバム
- 感熱紙（レシート・ファックス用紙など）
- アルミコートされた紙
(ジュースの紙パック、カップ麺のふたなど)
- ワックス加工紙（紙コップ、紙皿など）
- シール
- カーボン紙（複写式の用紙、伝票類など）
- シュレッダー紙



「燃えるごみ」で出してください